大人の健康

成人矯正のパイオニア

名医・名院、ここにあり

イリエ歯科IKクリニック 入江雄一郎総院長

35歳過ぎれば8割近くが危ないといわれる歯の成人病・歯周病はじめ、入れ歯、歯並び、口臭に至るまで、口の中の悩みは尽きない。そんな治療、研究に日夜当たるのが、審美歯科にも尽力するイリエ歯科IKクリニックの入江雄一郎総院長だ。

インプラントなどの不快症状軽減できる、画期的な新素材の人工歯開発にも成功！

海外雑誌も注目するホワイトニングの症例成果

大阪大学歯学部を卒業後、歯科医になった入江院長は、「良い材料を使って病気を治すだけでなく、色・形・強度そして歯肉・口唇など歯の周辺にまで気を配った細心の治療が求められている。その意味で歯並びは大事。見場だけでなく、噛み合わせにも影響が出、肩こりや顔の歪(ゆが)みなども引き起こす。歯に食べ物カスが詰まりやすくなり歯周病の原因にもなっている」と指摘する。

それを治すのが〝歯列矯正〟。子どもがやるものと思っている人も多いだろうが、今や大人の矯正も稀ではない。気になる部分だけの〝プチ矯正〟が増えているのだ。

入江院長はこの分野ではパイオニアともいえ、審美歯科が一般化する15年も前から、一律の矯正法ではなく、一人一人の骨格、性格、笑い方、希望に合わせた独自の治療法を初めて打ち出し、注目を集めてきた。矯正を含め治療に際しては、「できるだけ歯は抜かない、削らない、神経は抜かないというのが基本。自分の歯に勝るものはないから」という。

矯正と並んで、最近は歯を白くしたいというホワイトニングの患者も増えているそう。同院長は、米の技術者と共同開発、リラクゼーション効果のあるホワイトニングマシーンの開発をするなど、この分野でも1万人以上の症例から、元の歯の色と治療後の結果を入江院長の分類として、海外の専門誌が掲載している。

1日で歯を入れる「1dayシステム」

ところで、中年から増えるのが、虫歯や歯周病などによる欠損歯だ。部分入れ歯や総入れ歯、インプラントなど人工歯で補うことになるが、サラリーマンに増えているのは、インプラント治療。失った歯のあとに、人工歯根を埋め込み、天然歯のような美歯を作る技術で、費用や期間は少しかかるが、見場や使用感では天然の歯に一番近い。

だが自分の歯でないので噛み心地だけでなく、人工歯にすると素材が硬いため、歯同士を傷めやすい欠点もあり、違和感を訴える患者も少なくない。そこで同院長は技工士と一緒になって、長年に渡り新素材開発の研究し続けてきた。行き着いたのは〝歯は硬い〟という概念を捨て、素材を換え直してみた」

で、昨年暮れ、非金属の画期的な人工歯の開発に成功。大きな特徴は、硬さも適度にあるが弾力性にも富むというもの。

「歯茎にもやさしく、他の歯を壊す危険性も低くなる。インプラントの場合は、顎の骨にもやさしいです」（入江院長）。

回りにある天然の歯とも弾力性があるお陰で、しっくりフィット。実際にこの人工歯に切り替えた患者から「噛み心地が増した」との声も。近々、学会で発表するという。

治療に長期間かかり、途中で行くのをやめてしまうサラリーマンも多いことから、治療の〝時短〟にも乗り出した。

院長が打ち出す「1dayセラミック」システムもその一つだ。通常、差し歯や人工歯を入れる場合、型取りやかぶせものを作るのに時間がかかる。その部分を1日に短縮するという画期的なシステムだ。医師や技工士に負担がかかるが、「自分が患者さんだったらという発想で考え続けています。どんな仕事も第一に考えなければならないのは、顧客満足。医療の世界も同じ」と入江院長は笑顔で語る。名医を生むには〝患者の声〟なくしてありえないのかも。

※イリエ歯科IKクリニック　大阪市中央区南船場3－4－26　出光ナガホリビル12F（地下鉄心斎橋駅徒歩3分）☎01 20・158・118

※デンタルクリニックサンタクルスザ・シュクガワ（3F）　西宮市相生町8－11（阪急夙川駅徒歩5分）☎0798・73・4618

治療は抜かない、削らないが基本という

あなたは大丈夫？ファセット症候群

ファセット症候群とは、歯ぎしり、異常摩耗、咬合歯数の減少、口臭、歯周病、喫煙、運動や労働での歯の食いしばりなど、様々な原因により、将来、歯を失う危険性が高くなっている状態を指す。

この聞きなれない病状に早くから着目してきた入江院長は「現代病の一つでもあるストレスと、噛み合わせのストレスのかかるような状況におかれている人は歯を失う予備軍と考えている」と、指摘している。

思い当たる節のある人は要注意なのであり、昭和45年ごろまでは大阪が日本唯一の産地だった。現在でも出荷額は1位で、機能性はもちろん、その発想にも感心させられるものが多々ある。

ビバテック（大阪市浪速区）が開発した「デンタルシグマ」（1050円）もその一つ。なんと360度にブラシ毛が植えられているのだ。その数は約1万本以上で一般的なものと比較すると10倍以上。高密度円周毛とワッシャー（隙間）を交互に配置した特許製法は、独立した9段のブラシ束で清掃効果をより高めるという。独特な形状は手首を返さずにブラッシングできるほか、歯だけではなく歯茎や舌、粘膜など口腔全体のケアにも使える優れモノだ。

●ビバテック（☎06・6635・0779）

セット症候群の人が多い。今、何も異常がないと思っていてもストレスのかかるような状況におかれている人は歯を失う予備軍と考えている」と、指摘している。

思い当たる節のある人は要注意なのであり、将来、歯を失う危険性が高くなっている状態を指す。

この聞きなれない病代人は予想以上にファる。

大阪発の360度歯ブラシ

日常の口腔ケアといえば、〝歯ブラシ〟。その製造は明治38（1905）年ごろ、大阪市内や八尾市内の工場で始ま

口臭が気になれば、素早くチェック！

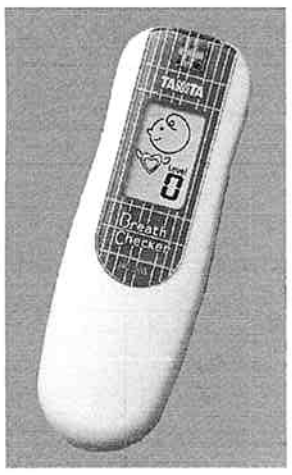
自分で気付きにくい口臭は、臭うと思っても指摘してくれる人は稀。逆に自身は他人の口臭にシビアになるから厄介だ。

そんな口臭は、対人関係でのエチケットであり、健康のバロメーターだ。

で、手軽に調べられる口臭チェッカーに注目。

目に見えない口臭を分かりやすくチェックできるのが、ポケットサイズの「ブレスチェッカー」（3675円／タニタ）。〝ハァー〟と声を出しながら息を吹きかけると、6段階のイラストで口臭レベルを表示。大切な商談や会合前などに即チェックできる。

口臭対策は見えないオシャレだけでなく、病気の場合もあり、気にしすぎるとストレスや悩みも。

気になる方はぜひ。

●株式会社タニタお客様サービス相談室（☎03・3967・9655）